

# 祝 難工事を克服し、無事故・無災害で貫通果たす 地域の悲願、大谷川浜小積浜トンネル

宮城県が石巻市内で進めている（仮称）大谷川浜小積浜トンネル工事の貫通式が11月18日、石巻市大谷川浜地内の現地で行われた。

貫通式には宮城県の齋藤和城土木部長、石巻市の齋藤正美市長、女川町の伊丹相治副町長、安藤ハザマの木下真東北支店執行役員支店長らが出席。関係者による貫通発破や通り初め、鏡開き、万歳三唱などを行い貫通を祝った。



齋藤土木部長

齋藤部長は「これからトンネル内部のコンクリート工事や舗装工事、道路改良工事が続く。安全で利用しやすい新しい道路の一日も早い完成に向け、工事関係者とともこれまで以上に安全管理を徹底しながら工事を進めていく」と意気込みを述べた。齋藤市長は「大谷浜と小積浜をへだてる山間部を短時間で安全に通行することが可能となる本トンネルは地域の悲願。トンネルの貫通は市としても大変心強く思っている」とあいさつした。

また、施工者代表として木下支店長は「皆様のご協力があり、トンネルを貫通させることができた。関係者一体となってこれまで培った知識、経験、技術の総力を結集してこの難工事に取り組み、無事貫通できたことは施工者として誠に感慨深く、感無量である。本日トンネルは無事貫通したが工事は継続している。引き続き工事完了まで弊社の安全衛生基本方針である『安全はすべてに優先する』を貫き通し、誠心誠意工事を進めていく」と力を込めた。



木下支店長

大谷川浜小積浜道路整備事業は、主要地方道石巻鮎川線と女川牡鹿線を東西に結び、強靱で信頼性の高い、災害に強い道路ネットワークの構築を主な目的として、2017年度から延長1,840mの計画区間で事業を進めてきた。開通後は、緊急搬送時間の短縮、水産業など地場産品の販路拡大、観光客の牡鹿半島へのアクセス向上などの効果が期待される。トンネル区間の延長820mについては、24年7月から掘削工事に着手し10月31日に実貫通した。工期は26年7月末を予定している。



実貫通



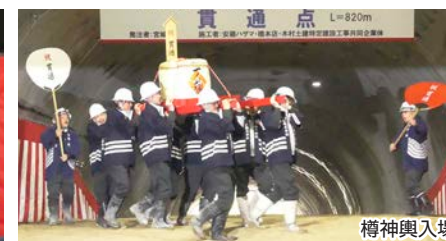
貫通を祝う施工陣



通り初め



貫通発破



樽神輿入場



鏡開き

工事概要	
工事名	（仮称）大谷川浜小積浜トンネル工事
発注者	宮城県知事
施工地	宮城県石巻市大谷川浜～石巻市小積浜地内
施工者	安藤ハザマ・橋本店・木村土建特定建設工事共同企業体
工期	2024年12月20日～26年7月31日
工事内容	施工延長：888m トンネル(NATM) L=820m W=6.0(7.5)m(発破工法・タイヤ方式) 掘削・支保工 L=820m 覆工コンクリート・防水工 L=820m 連続鉄筋コンクリート舗装工 A=5,330m

安藤ハザマ・橋本店・木村土建 特定建設工事共同企業体

人と技術で、未来に挑む。



執行役員支店長 木下 真

東北支店／仙台市青葉区片平1-2-32  
TEL.022(266)8111(代)

7時4時  
勤務推進

夢、かぎりなく。



定禅寺通 創業明治11年147周年

株式会社 橋本店

代表取締役社長 武田 文孝  
<https://www.hashimototen.co.jp>



株式会社木村土建

代表取締役 木村 浩章

宮城県東松島市大塩字五台23-2  
TEL.0225(82)3006(代) FAX.0225(83)4143